

58

ミュージアムパーク鶴御崎・展望ブリッジ

つるみさき

●ふるさとの色と光



九州の最東端に位置する大分県の鶴見町では、水産と観光を主体にまちづくりを進めている。鶴御崎はリアス式の海岸にある岬で、島々と岩礁の美しい景観が眺められ、周辺は日豊海岸国定公園や豊後水道県立自然公園に指定されている。岬の周囲はツバキなどの原生林に覆われており、鶴見町では自然と調和を図りながら、ミュージアムパーク鶴御崎（野外博物館）の整備を進めてきた。

このほど施設を充実させるために設置された「展望ブリッジ」は、標高二七九メートルの鶴御崎の山腹にある。ブリッジからは三六〇度の風景が眺望でき、豊後水道はもとより、遠く四国の山々までも眺めることができ、ミュージアムパークの新しい名所となり、観光客の誘致施設となるよう期待されている。

DATA・BOARD 58



- ① 大分県南海部郡鶴見町大字梶寄浦
字鶴御崎
② 延長：54m、幅員：1.8m、高さ：
5.4m